



南部町立南部中学校 学校だより 第7号

チーム南部中

令和4年7月1日(金)

校長 望月和彦

地区陸上でもキラリと輝いた南部中

峡南地区総体陸上競技の部（地区陸上）には、体育の授業での測定結果をもとにして、58名の選手が選ばれ、運動部の地区総体後から放課後を使って練習をしてきました。雨の日も多く十分な練習はできま

せんでしたが、本番に向けて限られた時間を有効に使って練習に励んできました。練習には陸上の専門家である四條勉先生が指導に来てくださり、選手たちに各種目ごとの技術面のアドバイスや、競技をするときの心構えを教えてくださいました。そして6月24日（金）、JITリサイクルインクスタジアム（小瀬陸上競技場）において大会が開催されました。日中の最高気温が34度という大変な暑さの中でしたが、本校の選手たちは「全種別優勝！」というチーム目標、「自己記録更新！」という個人目標めざして精一杯がんばっていました。峡南地区には中学校が9校ありますが、南部中チームは総合得点で「共通女子」と「2年女子」が総合優勝、「共通男子」と「2年男子」が総合2位となりました。種目別でも、本校選手は9



種目で1位、8位以内に入賞した選手は延べ人数で57人（リレーを除く）という素晴らしい結果でした。以前に四條先生が「南部中の生徒は、真面目に努力する生徒が多いので、競い合っているときに、最後の一踏ん張りが効く」と話してくれましたが、今年度の選手たちも南部中の伝統を受け継いでくれました。選手ばかりでなく、補助員4名、マネージャー3名も生徒たちも、競技運営や選手のサポートのために暑い中一生懸命働いてくれました。チーム南部中の団結力を発揮した一日でした。以下に入賞者の結果を掲載します。



	女子	男子
共通	総合優勝 100m4位渡邊莉理, 5位仲亀花音 200m1位佐野結菜, 3位渡邊莉理 800m2位鈴木湊羅, 4位萩原音色 1500m1位萩原音色, 5位遠藤爽 100mH1位佐野結菜, 5位仲亀花音 走高跳6位旗持唯, 8位望月美沙樹 走幅跳5位鈴木湊羅, 8位旗持唯 4×100R1位南部中	総合2位 100m2位望月晴, 4位大内龍雅 200m2位大内龍雅, 6位佐野稜真 400m1位依田大輝, 5位小尾怜央 800m2位望月晴 1500m3位千頭和大夢, 4位村松士輝 3000m8位佐野航太郎 110mH6位横山海琉 走高跳4位柿島瑛心 走幅跳5位佐野稜真 砲丸投3位依田大輝 4×100R1位南部中
2年	総合優勝 100m6位岩本奈砂, 7位若林実希 800m5位入月亜子, 6位佐々木麗 110mH3位佐々木麗, 5位石原あゆみ 走高跳2位遠藤夏奈, 3位望月心愛 走幅跳4位瀧井ひなの, 7位石原あゆみ 砲丸投1位狐塚美桜, 5位岩本奈砂	総合2位 100m3位古屋祐磨 800m5位山本庚実, 8位小山歩夢 3000m3位遠藤星南 走高跳1位古屋祐磨, 3位市川瑛士 走幅跳2位市川瑛士 砲丸投5位小泉道慈
1年	総合6位 100m7位望月千秋, 8位小泉穂幸 800m6位望月千秋, 8位望月愛來 4×100R3位南部中	総合4位 100m5位若林郁士 1500m4位千頭和涼大, 7位諏訪朔真 走幅跳3位望月蓮生 砲丸投1位佐野春真



アシスト授業と逆アシスト授業

本校は、身延高校、身延中学校とともに「連携型中高一貫教育校」として12の連携事業を行っています。



その中心的な事業がアシスト授業です。身延高校の数学科の遠藤佳宏先生が、毎週火曜日と木曜日に来校し、3年A組とB組の数学の授業に入り、生徒たちの学習を支援してくれています。遠藤先生は万沢にお住まいで、昨年度もアシストに入っていたので本校の様子をわかっており、学習支援もスムーズに行われています。今年度、数学は1年生から3年生まですべての授業で、2人の教員が協力して指導するチームティーチング(TT)を取り入れています。3年生の担当は保坂伸也教諭と青木直之教諭ですが、火曜日と水曜日

には、身延高校の遠藤佳宏先生も加わり、3人で生徒たちの学習を指導しています。一人一人の生徒に寄り添ったため細かな指導が可能になっています。

また、本校の数学担当の松山京介教諭と英語担当の渡邊武志教諭は水曜日に身延高校に出かけ、高校1年生の数学と英語の授業の学習支援を行っています。その授業には身延中学校からも数学と英語の教師2名も学習支援に入っています。これがいわゆる「逆アシスト授業」です。授業に複数の教員がいることで個別の指導が可能になったり、中学時代に知っている教員が近くにいることで質問しやすかったり、相談しやすかったりするという効果があります。

「高1ギャップ」(＝高校1年生の学習内容が中学と比べて急に難しくなるなどの理由から、授業についていけなくなること。生活面での変化についていけないことも含めることもある。)を解消することを目的にしています。さらに、卒業生の高校での様子を見ながら、高校生を励ましたり、中学生や本校教員に卒業生が頑張っている様子を伝えたりする働きもしています。



安全な教育活動の工夫



4・5月に比べると、新型コロナウイルスの感染症数は県内や峡南地区ではあきらかに減少してきました。今まで制限してきた教育活動も徐々に工夫しながら再開しています。具体的には、音楽科での合唱は今まではマスクを着用して実施してきていましたが、6月からウッドデッキを使って生徒同士の距離を確保する中でマスクなしの合唱を始めました。吹奏楽部は最大の目標である吹奏楽コンクールが7月23日に迫ってきています。音楽室では生徒間の距離が確保できないので、広いランチルームを使っての窓を開けて合奏を行っています。また、アルカディアのプールを休館日の月曜日に中学生専用に貸していただき、無言での更衣などに注意しながら、1・2年生でプールの授業を実施しました。(3年生は昨年度実施したので、今年度はなし)

一方で観測史上最も早く梅雨が明け、気温が35度近くになる日もあり、熱中症に対する警戒もしなければならなりません。対策として「室内の気温が28度を超える場合はエアコンを利用する。」「こまめな水分補給をする。」「会話をしない登下校時、

体育の授業時、部活動の活動時(吹奏楽部は対面ではない演奏時)にはマスクをはずしても良い。」という指導をしています。今後も、感染症や気温の状況に注視し、生徒の安全を第一に考えた対策を行いながら、教育活動を進めていきます。そして、今一番の願いは、7月5日から2泊3日で予定されている3年生の修学旅行が無事に実施できることです。

